

小学部 生活科 2段階 生命・自然

単元名：「ふゆのあそびをしよう」

【テーマ：指導と評価の一体化】

Aさんの個別の指導目標（生活科2段階）

この資質・能力を育みたい！！

- ①風の力によって、かざわが転がることに気付きことができる。（知識及び技能）
- ②風の力でかざわが転がるのが分かり、かざわが転がる理由を「風」や「ぴゅーぴゅー」等の風に関わる言葉や身振りて表現することができる。（思考力・判断力・表現力等）
- ③風の力でかざわが転がることを言葉や身振りて表現しようとしたり、風の力によって転がるかざわの面白さを感じながら遊ぼうとしたりしている。（学びに向かう力、人間性等）

資質・能力を育むための指導のアイデア

構成

- ・外での活動だけでなく、うちわや扇風機などの「風」を使って考える場面を設定する。
- ・風が弱い日に校庭に出て、比較する。



ことば

- ・子どもが活動する中で、気付いたことを言語化し、確かな知識へとつなげていく。

教材

- ・風に着目して、見方・考え方が働くような教材を扱う。



かざわは、風の力で転がる。

指導

- ・「なぜ～」と考えたり、比較したりする発問を意図的に取り入れる。

意図的な発問によって思考を深める。



<支援者会議のあと・・・>

「うちわで扇ぐとどうなる？」の最初の発問に「転がらない。」と答えていた子どもたちが、授業の終わりに体験を通して、再度同じ発問に「転がる。」「ころころ」と異なる発言が見られました。風の力とかざわが転がることにつながりが見えてきたようでした。

今回の単元を通して、子どもの気付きをさらに広げ、学びにつなげていくためには、各教科の内容の本質について、私自身が深く理解しておくことが必要不可欠であると感じました。

